

「道徳の時間」学習指導案

江田島市立鹿川小学校

指導者 河野 諭恵

- 1 日 時 平成 25 年 7 月 16 日 (火)
- 2 学 年 第 3 学年 男子 10 名 女子 10 名 計 20 名
- 3 場 所 第 3 学年教室
- 4 主題名 自分らしさを生かす 1－(5)
- 5 ねらい 中村選手の苦労や努力を知り、自分らしさを生かそうと思ったぼくの気持ちを考えることを通して、自分のよい所を生かし、伸ばそうとする態度を育てる。
- 6 資料名 「中村選手は中村選手、ぼくはぼく」(出典 光文書院)
- 7 主題設定の理由

<主題観>

本主題は、小学校学習指導要領道徳の中学年の指導内容 1－(5)「自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。」をもとに設定したものであり、個性の伸長を図るために積極的に自分のよい所を伸ばす児童を育てようとする内容項目である。

自分の特徴に気付くとは、よい所と悪い所の両方に気付くことである。また、個性の伸長とは、自分のよい所を生かすことであり、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。

このような自己の形成を目指して、中学年では、よい所と悪い所の両面に気付いた上で、よい所を伸ばそうとする意欲を高めることを重視している。

この指導内容は、自尊感情を育てていくことに大きく関わっており、個々の児童が自己を肯定的にとらえていくために大変重要である。

<児童観>

本学級の児童は、帰りの会の「きらり」のコーナーで、一日を振り返って自分や友達の頑張りを評価することに取り組んでいる。評価の内容は、自分のことが多いが、少しずつ友達についてのよい評価も出始めており、児童の自他理解は、自己中心的な見方から、客観的な見方へと広がり始めている。

5月に行った道徳アンケートの「自分にはよい所がある」については、約9割の児童が肯定的な回答をしており、自分のよい所を感じている児童が多いことがわかる。しかし、よい所の記述を見ると、よい所を一つしか挙げていない児童がほとんどであり、自分を多面的にとらえることは充分でないと思われる。

今後、より多くのよい所をとらえていけるように、自分を多面的に見る目を育てていく働きかけが必要である。

<指導観>

本資料は、個性の伸長を描いた作品である。主人公が、サッカーで中村選手と比べられることや、背が低いことについて不満をもっている時、中村選手の苦労について知る。そして、中村選手が自分の特徴を生かす努力をしていたことに共感し、主人公が自分自身も自分らしさを生かして頑張ろうと思う内容である。

導入では、中村俊輔さんが、日本代表のサッカー選手であることを説明し、全員が学習への関心を高められるようにする。

展開前段では、背が低いための苦難を乗り越え、サッカーが得意だというよい所を伸ばそうと自分を信じて努力し続けた中村選手の姿から、自分らしさを生かすヒントをしっかりと考えさせ、ねらいとする道徳的価値をとらえさせたい。

展開後段では、道徳学習プログラムのまとめとして、児童のよい所を伸ばす意欲を引き出すことができるように、自分のよい所をどうしたら伸ばすことができるか具体的に考えさせ、友達と話し合って深めていきたい。また、具体的に考えるときは、道徳学習ノートを活用し、これまでの学習を振り返り、友達や家族からの見方も参考にしながら、よい所についてとらえ直し、自分の考えをもたせるようにする。

8 道徳学習プログラム

段階	学習計画	道徳の時間と学級活動の工夫	道徳学習ノートの活用	児童の意識の流れ
《第三段階》 よい所を伸ばそうとする ↑	⑤道徳の時間 主題「自分らしさを生かす」 1－（５） 個性の伸長 資料「中村選手は中村選手、ぼくはぼく」	<展開後段> 自分のよい所を伸ばす方法を考え、友達と話し合うことで、意欲を引き出す。よい所を伸ばす方法への家族の応援メッセージを取り入れる。	自分のよい所を伸ばす方法を考え、家族から応援メッセージをいただく。	自分のよい所を伸ばす生き方は、すてきな。よい所を伸ばしたい。
《第二段階》 よい所を見つめる ↑	④学級活動 「自分のよい所トップ3」 カードをもとに自分のよい所を三つ選び、順位をつける。選んだものを友達と話し合い、自分のよい所を見つめる。 ③道徳の時間 主題「自分らしさ」 1－（５） 個性の伸長 資料「じゃがいもの歌」	自分のよい所を選んだり、よい所に対する友達の考えを聞いたりすることで、自分のよい所を見つめさせる。 <展開後段> 自分のよい所を考え、友達に伝えることで、よい所を見つめさせる。	友達や家族からもらったよい所カードから、自分のよい所トップ3を考える。	自分にはよい所があるな。友達がよい所を認めてくれて、うれしいな。
《第一段階》 よい所や悪い所に気付く	②学級活動 「友達と自分のよい所みつけ」 友達のよい所をカードに書き、伝え合う。友達のよい所を見つけることを通して、自分のよい所や悪い所に気付く。 ①道徳の時間 主題「友達のよさ」 2－（３） 信頼・友情 資料「貝がら」	友達のよい所を4人グループで伝え合い、いろいろな自分のよい所や悪い所に気付かせる。 <展開後段> 友達のよい所を考えたり、自分のよい所を教えてもらったりして、自分のよい所や悪い所に気付かせる。よい所は家族からも記入してもらう。	友達や家族からもらったよい所カードを記録として残し、次の段階で振り返ることができるようにする。	友達には、いろいろなよい所があるな。自分にも、友達と似ている所や違う所があるな。

9 学習指導過程

段階	授業展開	主な発問（○）と中心発問（◎） 予想される児童の心の動き（・）	留意点（・） 評価(※) 他者とのかわり（◇）
導入	1 中村選手の現在の活躍について知る。	○中村選手を知っていますか。 ・サッカー選手。 ・日本代表になった。	・中村選手の現在の活躍を知らせ、学習への関心を高める。
展開前段	2 資料を読んで、話し合う。	○ぼくは中村選手と比べられて、どんな気持ちでしょう。 ・比べられるといやだな。 ・中村選手と同じことなんかできない。 ・何をがんばればいいのか分からない。 ○本を読んで、ぼくは中村選手をどう思ったでしょう。 ・ずっとサッカーをがんばっていて、すごい。 ・体格をカバーしようと、技をみがいたんだ。 ・あきらめずに、がんばりつづけたんだ。	・ぼくの気持ちに共感させ、人と比べて悪い所にとらわれると、がんばる意欲を失うことに気付かせる。 ・中村選手の苦労や努力にも注目させ、苦難を乗り越えてよい所を伸ばすことができたことに気付かせる。

		◎中村選手の頑張りを知って、ぼくはどんなことをがんばろうと思ったでしょう。 ・落ち込まないでがんばろう。 ・さぼらないでがんばろう。 ・自分を信じて努力しよう。 ・自分のやり方を見つけよう。	・自分の考えをワークシートに書かせ、よい所を伸ばすための工夫をとらえさせる。
展開後段	3 自分らしさを生かすには、どうすればよいか考える。	○自分のよい所を伸ばすには、どうしたらいいでしょう。自分ができることを考えて、友達と話し合いましょう。 ・走るのが速いから、もっと練習しよう。 ・友達が優しいと褒めてくれたから、もっと優しくしたい。	・ワークシートに書かせ、よい所を伸ばすために具体的にどうすればよいかじっくりと考えさせる。 ◇友達とよい所を伸ばす工夫を話し合い、考えを深める。 ※自分のよい所を伸ばす方法を自分なりに考えることができたか。(ワークシート)
終末	4 自分らしさを生かして活躍している人を紹介する。	○水木しげるさんを紹介します。 ・中村選手とは違う生き方だな。 ・こんな生き方もいいな。 ・自分もよい所を伸ばしていきたいな。	・スポーツとは違う分野で活躍している人を紹介して、よい所を伸ばした生き方がほかにもあることを知らせる。

10 板書計画

